

中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www.junya-susono.club/

令和4年度の行政サービスはどうなるのでしょうか？

慣例1年任期の副議長職を何とか勤めることができました。市民要望をきちんと受け止め議論し、政策立案へと繋ぐ仕組みとして「政策討論会フレーム」を構築。また、行政の規則や要綱などについて合同勉強会を実施し、作業手順を改善。国や県への要望を他の市町と連携して行えるよう「広域連携報告会」という検討の場を設置するなど、議会や議員が動かざるを得ない仕組みを少しバージョンアップすることができました。住民の声がきっかけであることは変わりません。更なる活性化のため一議員として仕掛け続けたいと思います。ご指導ありがとうございました。



さて、令和4年度は、岩波周辺は賑やかな方向に、その他は積み重なる財政悪化の改善のため、全事業が予算規模として縮小の方向に動き始めることになりそうです。現時点で来年どんな事業が選択されるのか私にも分かりません。詳細がわかるのは、市長選挙中の候補者の言葉？こういう時こそ早く公表して、市民の声で議論が大切だと思いますが、なぜかその決断は先送りに、、、自治体としてどの水準で来年度を迎えようとしているのか、市長はどの分野の施策に思いを上乗せするのか。現実感ある思いを早期に説明するよう働きかけています。

【9月定例会】昨年度の決算 と 今年度の補正予算

●議案や補正予算

■公共施設利用（多角化、複合化）

未就園児中心に利用が多い御宿にある北児童館。

近隣のミライエト御宿のニーズ調査では若い共働き世代の購入問合せが多く、保育園、公園などが近い住環境を求めているため、



児童館を保育園へと用途を変更し、併せて福祉保健会館に児童が集える場所を作ることになりました。児童館と呼べる場所は減りますが、幼少児期の教育や育ちの支援は重要です。児童支援機能を集約する福祉保健会館は、ハード面はもとより、支援機能というソフト面を飛躍的に向上させ、市内全体の子どもの育ちに対する機能を高めていく、基軸となるよう中心的な役割を担ってもらいたいと思います。



■行財政構造改革断行に向けた市長の覚悟

このタイトルで良いのかな？

今年2月に発出された財政非常事態宣言。「市民の皆様にも協力頂きたい」と財政の収支均衡を目指し行財政構造改革第2弾を断行すると発表しました。その覚悟を示すためとした特別職給与を減額する条例を可決しました。市長月額▲10%、他▲5%。

減額期間は、1月28日（市長任期満了）まで。財政非常事態宣言を出した時点で給与減額の必要性が議論されていましたが、結果的には「責任」ではなく、「今後の覚悟」を示す減額。

「これからがんばる」時に、TOPが給与を減額する、覚悟の先にある施策とは如何なるものか？

「市民の皆様にも我慢を強いる場面があるかもしれない」と発言されますが、我慢させられる施策なの？

辛抱はするけど我慢はムリ！コロナ禍で経験済み。どの時代でも人生の質は高めたい。その視点を念頭におき施策立案にこそ、アイデアを絞り出して取り組んでもらわなければなりません。



<令和2年度決算>

歳入：282億5,987万9千円

歳出：275億2,566万2千円

差引：7億3,421万7千円

実質単年度収支：

▲2億8,965万3千円 ⇄

～～お金がないとは？～～

十数年、実質単年度収支は▲8億円で推移。昨年はコロナで事業が行われず、歳出が抑制された為、赤字幅が少なく済んでいます。ただこのまま元に戻っても赤字となり、36億÷8億で計算すると5年分も保たないとして「お金がない」との表現に至っています。

※基金取崩：5億4,837万6千円
(同残高：36億8,821万5千円)

中止の事業って、約5億円分？
詳しくは、広報すそので！

“あの話題” どうなるの？

10月5日の全員協議会。市長から令和4年から8年までの行財政構造改革に取り組むとの報告。やっとコロナ禍対策の緊急事態宣言が解除されましたが、生活も行政サービスも、「これで元通り」とはいかない状況です。「コロナだから」と世の中の活動が停滞するのと同じかのように、行政も「お金がないから」と口にしてしまっている状況は、容認し兼ねます。住民でできることは住民でやる。行政にはその住民が幸せに日々暮らせるよう、知恵と工夫、最小限のコストで施策に反映すべく全力投球頂こう。

●路線バス（三島一須山線）減便

公共としての補助金も、少利用では無駄遣い。
少利用→売上減→経営難→減便（当たり前）
少しでも黒字路線を一つでも増やす工夫が大切。

通学や下校の時間が合わず利用しない児童生徒に、毎日使ってもらえるルートと時間の調整を提案。＜学校や保護者と意見交換を予定＞

車必須の裾野では、バスがなく困る世代は限定的。複数の街を走る路線に補助金が出るため、裾野のニーズだけに合わせるのは困難。それでも事業者さんには「利用しやすさ」を追求して頂き、黒字となるバス時間帯を作るなど工夫も大切。乗る側も時間を募って利用して、路線維持に本気で取り組まないと、「あるだけ良いよね」という時代が来てしまいかねません。

今回富岡地区の小中学校とバス会社が、初めて利用時間についての協議を行うことになり、保護者向けに利用するためのアンケートが実施されました。待つだけでなく、行動しよう。協働で地域の足を守る工夫が、始まっています。



●美人の湯ヘルシーパークすその

緊急事態宣言が解除されたのに休館している!?
コロナ禍で入場者が2年続けて激減。運営事業者裾野振興公社から、経営悪化で継続営業は困難と事業継続に係る協議が9月末に申し込まれ、休館。再開できる？ 誰が運営する？

継続のため補助を、との要望ですが、この施設だけに税投入とはいかないのが実情。今は指定管理者が運営することにしてあるので、振興公社以外の運営は不可。

「直営とか他の会社にやって貰えば？」とか、「どうせお金がないと言って、閉館するんでしょ」と言われますが、法制度を確認しながら、再開に向けた協議、準備が並行して行われています。塩分を含む珍しい泉質を持つ温泉。早い再開を願いますが、手続きや不安定経営を考えると年度内は難しいか？ 井戸が止められるようだと終わり。そうならぬよう早期の再開が望まれ、また汲み上げ続けるお湯も何とか活用していきたいものです。皆さまからも、良いアイデアをお寄せくださいませ！



各種活動のご紹介



●Next 50を見据えた会派提言を市長に提出。

財政が苦しい状況にあろうとも住民の福祉を蔑ろにしてはいけません。知恵と工夫について、我々が考える施策を提言し、代表質問しました。

●50周年記念「子ども議会」開催

市内小学校児童の代表者が議員となって、市長に対する一般質問を行い、自分が住む

まちの姿について、思いを訴えてくれました。緊張から解放の記念撮影！



●日中友好協会さんの図書館草刈り奉仕作業

会員の交流活動に制約がある中、できることを！図書館テラスなどの美化活動を行いました。暑い中、お疲れ様でした！



●ネット配信

コロナ禍でも議会の様子を確認できるよう配信開始。写真は役所1Fのライブ配信です。

Facebookで日頃の活動を配信中です。



ご意見、ご要望のほか、後援会入退会など、お気軽にご連絡くださいませ。